

平成31年1月24日(木)

タブレット320台と電子黒板10台

1 タブレット320台

本年度中に、本校に320台のタブレットが導入される予定です。すでに、11月の地域企業との連携事業いわきアカデミアの学習に、先行して60台のタブレットが導入されており、1年生のクラスの中でのタブレット端末とインターネットとのWi-Fi環境も整えたところです。

今後、1月中に残りの260台が導入され、クラスごとに一人一台のタブレットと、電子黒板による授業が可能になります。

手始めに、学年末考査の終了後、津波からの復旧復興を体験する授業を展開するために、復旧復興の映像共有や、現在の久之浜地区豊間地区に出向き、ドローンを上げて、鳥瞰的な視点から地域の現状を知るという授業を行います。

さらには、2月22日の午後に、その授業の状況を全員が共有する振り返り授業を行います。興味関心のおありの方は、どうぞ参観にお越しください。

2 電子黒板10台購入

写真は、校長室の電子黒板です。テレビでいうと65インチの大きさです。DVDの視聴や、パソコンとタブレットとの連携により、授業の展開を電子黒板で共有しながら進めることができるようになりました。

今後、来年度に向けて、今年度と同様な予算を要求しているところです。併せて、20台の電子黒板と700台のタブレットが来年度までにそろい、2020年度に残りの電子黒板10台とタブレット300台を購入することができれば、磐城高校として、学習のツールに、電子黒板30台とタブレット1000台がそろいます。

3 授業の進化—深化へ

ツールの獲得とともに、ソフトの開発や、授業全体の見直しが必要になると考えます。

磐城高校の伝統を生かしつつ、これからの大学休学試験制度改革の動きに対応できる授業開発も行うことが求められておりますので、学校全体で、その情報を共有し、次の世代に向けた教育環境を充実させていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

校長室にある電子黒板で、昨年の吹奏楽全国大会のDVDを視聴しました。

